

# 【匿名性を担保した授業評価 最終評価の結果と総括】

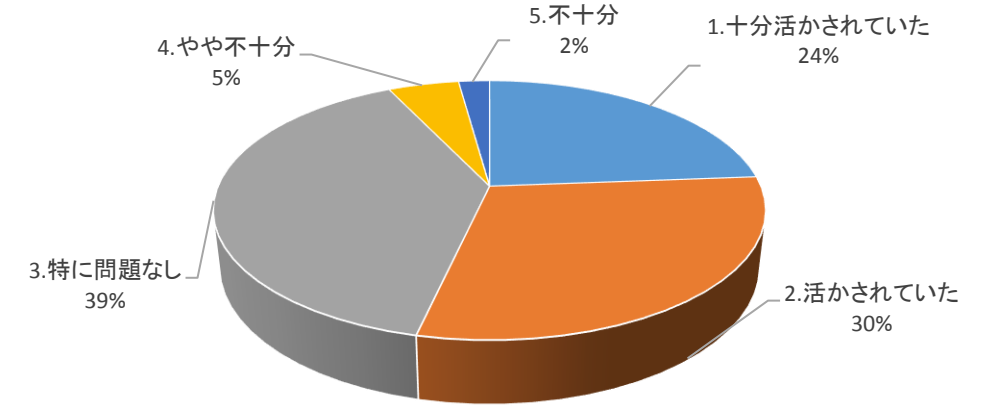
♪ 回収率

1年生	93%
2年生	97%

♪ 最終評価 集計結果

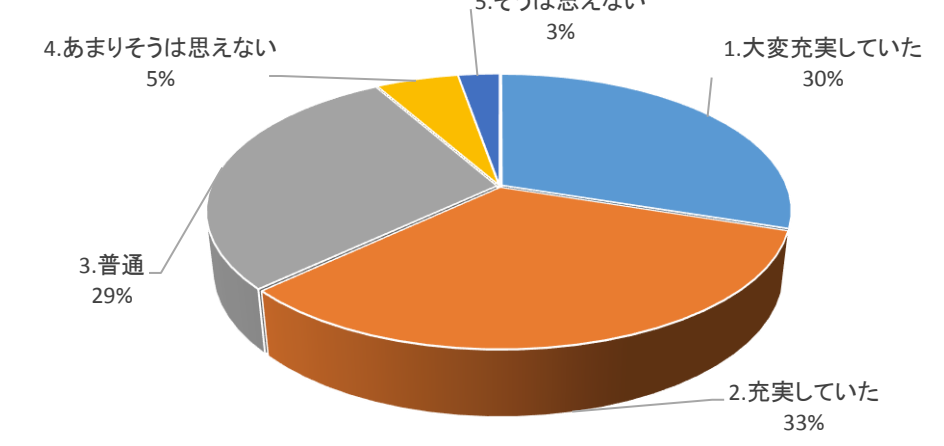
Q1 中間評価の活用	1年	2年	1・2年 総合
中間評価は、その後の授業に活かされていましたか？			
1.十分活かされていた	25.4%	22.0%	23.8%
2.活かされていた	34.7%	24.3%	29.8%
3.特に問題なし	33.6%	45.7%	39.3%
4.やや不十分	4.7%	5.2%	4.9%
5.不十分	1.6%	2.7%	2.2%

Q1 中間評価の活用 1・2年生全体



Q2 年間総合評価	1年	2年	1・2年 総合
総合的にみて授業は、興味関心や学習意欲を高める充実したものでしたか？			
1.大変充実していた	30.5%	29.3%	30.0%
2.充実していた	34.3%	31.3%	32.9%
3.普通	27.9%	29.7%	28.7%
4.あまりそうは思えない	5.0%	6.0%	5.5%
5.そうは思えない	2.3%	3.2%	2.7%

Q2 総合評価 1・2年生全体



♪ 総括

- 今年度の本校の授業評価は、**中間評価において自由記述を充実させ生徒の意見・要望を受け止め、授業でフィードバックすることに重点を置き、最終評価において「中間評価がしっかり活かされていたか？」「総合的に見て満足いく授業であったか？」の2点を問う**ことで1年間の総括とした。こうすることで中間評価と最終評価が連動して位置づけられ、より効果的な評価になったと感じている。
- 最終評価のQ1からは、**多くの生徒がより質の高い授業を強く望んでおり中間評価に対する教師からのフィードバックに期待している**ことが分かる。またQ2からはこの数値を見て「まあこの程度ならよし」と捉えるのではなく**“不満を0%に” “普通を満足に”**押し上げていこうという**学校目標**が見えてくる。
- 来年度については中間評価を速やかに授業に反映するために、**夏休み前に中間評価実施⇒夏休み中に集計と分析⇒夏休み明けからフィードバック⇒2月の最終評価で満足度の確認**…といった授業評価のより効果的な在り方を検討したい。